

中期ビジョン（令和3年度～7年度）

I 本校が目指す姿

1 学校の現状

(1) 学校の状況

- ① キャリア教育プログラム「パスカルタイム」を通して、心の教育及び全人間的な教育を根本に据えた特色ある教育活動により、近隣の中学校を中心に、広く県内外からも生徒が集まっている。
- ② 第七次秋田県高等学校総合整備計画における統合3校の一つとして、他の2校との連携及び将来構想についての検討が必要になる。

(2) 生徒の状況

- 生徒は素直で礼儀正しく、明朗である。授業態度も真面目で、進路実現に向けて真摯に取り組む姿勢も身に付いている。

(3) 教育課程

- 令和2年度から「進学コース」「ビジネスコース」「生活福祉コース」の3コース制を定めた。今後も新学習指導要領に基づき、特色ある教育課程の編成が求められる。

(4) 進路状況

- ① 進学と就職の割合は、おおむね半々程度である。早い段階からの進路指導が定着し、就職については希望者の大半が第一希望の企業に早期に内定を得ている。
- ② 進学に関しては、男子バレーボール部の生徒を中心に国公立及び難関私立大学への進学を果たしているほか、入学後努力を重ねて国公立・私立大学へ進学している。

(5) 部活動・課外活動

- ① 活動は非常に活発で、特に男子バレーボール部や陸上競技部、吹奏楽部は全国やこれに準ずる水準の活躍をしている。また、他の部活動も顕著な実績を有している。
- ② 家庭クラブは地域との連携をテーマに、これまで数年にわたって小学校や商店街等多彩なコラボ事業を中心とする「雄高SmiRing～地域の“わ“づくりプロジェクト～」で、地域に笑顔の輪を広げている。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

(1) 将来予測

- ① 本校は横手市西部地区の高校教育の拠点校として使命を果たしてきた。少子化の影響で横手地区における令和10年3月の中学校卒業生数は572名と予測されている。
- ② 生徒の興味・関心や適性等を踏まえながら、平成及び増田高校との統合を見据え、幅広い視野と豊かな教養を身に付け、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成するための特色ある教育を推進していくことが求められる。

(2) 教育課程

- ① 「進学コース」では大学をはじめとする希望進路の実現に向けて、「ビジネスコース」「生活福祉コース」とあわせて、一層の充実を図る。
- ② 将来的には統合を見据えた教育課程の検討が3校間で必要になる。

(3) 進路状況

- ① 就職と進学割合は過去5年間ほぼ同率で推移している。今後も傾向に大きな変化はないと思われる。
- ② 生徒の具体的進路に対応した教育課程の見直しや、土曜学習の展開等対策の充実により、国公立をはじめとする大学等から就職に至るまで、第一希望の進路達成の増加に取り組む。

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー (目指す生徒像)

本校は校訓「正しく、豊かに、美しく」の下、豊かな人間性や創造性等、調和のとれた社会人としての資質・能力を養い、社会の進展に貢献する有為な人材の育成を目標としている。

- ① 正しい判断力と正義感のある生徒
- ② 思いやりと豊かな心をもつ生徒
- ③ 自信をもって主体的に行動できる生徒
- ④ 社会性やコミュニケーション能力の高い生徒
- ⑤ 向上心をもち社会的自立を目指す生徒

(2) カリキュラム・ポリシー (本校の学び)

グラデュエーション・ポリシーで示した人材を育成するため、目指す学校像を「生徒の豊かな心を育み、社会的自立を支援する学校」と定めて教育活動を展開している。

【学力向上と主体的な取組を促す授業づくりを推進します】

- ① 生徒の多様な進路希望実現のため、「進学コース」「ビジネスコース」「生活福祉コース」の三つのコースを設置する。新学習指導要領や社会の情勢を踏まえ、特色ある教育課程の編成を行う。
- ② 「パスカルタイム」の取組により、豊かな人間性や創造性を身に付け、調和のとれた社会人としての資質・能力を養い、社会的自立を目指し、進路実現に結び付ける。

【あらゆる教育活動を通じて在り方・生き方を考える力を育みます】

- ① 生徒が自分の良さや可能性を認識できるよう、あらゆる場面で自己肯定感・自己有用感を育む。
- ② 問題行動・いじめゼロを目指し、「心の教育」を実践する。

【外部機関等との連携を推進します】

- ① 地域を支える人材づくり推進のため、自治体や企業等と連携し、地域の課題を理解するとともにその解決を図ろうとする姿勢を育む。
- ② 自治体等と連携した活動や地域活性化に取り組み、地域に開かれた学校づくりを推進する。

(3) アドミッション・ポリシー (求める生徒像)

本校のグラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、次の①～④に当てはまる生徒を求める。

- ① 正義感があり、思いやりと豊かな心をもつ生徒
- ② 地域社会に貢献し、かつ支えようとする強い意志のある生徒
- ③ 基本的な生活習慣が身に付いており、本校での活動に主体的に取り組む生徒
- ④ 日々の授業を大切にし、将来の進路目標の実現に向けて努力する生徒

Ⅱ 5年間を通しての具体的な目標と取組

1 5年間を通しての具体的な目標

(1) 進路指導

- ① 国公立及び私立大学並びに国家、地方等の公務員希望者については、合格率100%、民間就職については第一志望事業所への全員合格
- ② 資格取得率の向上（全商ビジネス文書実務検定3級・全商ビジネス計算実務検定3級90%以上合格等）

(2) 生徒指導

- ① 生徒全員がさわやかな挨拶・整容を実現
- ② 問題行動・いじめゼロ

(3) 部活動・特別活動

- ① バレーボール部、陸上競技部の全国大会での活躍
- ② 他の部活動の全県大会上位入賞
- ③ 全ての生徒が地域ボランティア又は地域連携活動に関わり、地域の一員としての一体感を共有

2 目標を達成するための具体的な取組

(1) 学力向上を目指す授業改善

- ① 公開授業研究会の定期開催を通じた授業研究の推進
- ② 資格取得に向けた取組の充実

(2) 進路サポート体制の充実

- ① 全職員によるインターンシップ指導・就職及び進学受験面接指導
- ② 個別の進路希望に対応した課外学習指導による進学実績の向上

(3) 挨拶、正しい整容、道徳心の定着

- ① 朝の挨拶運動の推進（通年）
- ② 教育相談・特別支援体制の充実

(4) 部活動や地域連携による社会性の育成

- ① 部活動及び生徒会活動の充実
- ② 各部や生徒会、家庭クラブ、生徒個人による地域貢献、交流活動の促進

令和3年5月策定
令和5年6月一部改訂